

## ホスファチジルコリン・レチノール 〇-アシルトランスフェラーゼ

Cat. No. EXWM-2073

Lot. No. (See product label)

## はじめに

□明 レチノイド代謝における重要な酵素で、ホスファチジルコリンのsn-1位置からレチノールへの

アシル基の転送を触媒し、レチニルエステルを形成して貯□します。基質を自由形態および細胞レチノ―ル結合タンパク質に結合した状態の両方で認識しますが、結合した形態に□してより高い親和性を持っています。また、11-シスレチノ―ルをエステル化することもできます。

*則名* レシチン-レチノ―ルアシルトランスフェラーゼ; ホスファチジルコリン:レチノ―ル-(細胞レチ

ノール結合タンパク質) O-アシルトランスフェラーゼ; レシチン:レチノールアシルトランスフェラーゼ; レシチン-レチノールアシルトランスフェラーゼ; レチニルエステルシンターゼ;

LRAT; レシチンレチノールアシル転送酵素

製品情報

*形態* 液体または凍結乾燥粉末

**EC**番号 EC 2.3.1.135

*CAS*登□番号 117444-03-8

**反**[] ホスファチジルコリン + レチノール-[細胞レチノール結合タンパク質] = 2-アシルグリセロホ

スファチルコリン + レチニルエステル-[細胞レチノール結合タンパク質]

*備考*  $\hspace{1cm} \texttt{COP1} = \texttt{COP1} =$ 

ム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4  $^{\circ}$  で保管してください。長期間保管する場合は -20  $^{\circ}$  で保管してくだ

2110